

エコツーリズム戦略の基本構造と策定手順

策定手順

基本構造については以下のとおり、うち 1 . 定義、 2 . 3 つの基本について本日第 2 回適正利用・エコツーリズム検討会議にて討議の上、修正しおおかたの合意を得る。この定義と基本を基に、 3 . 目標及び 4 . 課題と解決の方法等に関しては次ページ「今後の作業内容」のとおりワークショップ形式にてアイデアの抽出と整理を行い、骨子案を作成する。

ワークショップの主催及び参集範囲

ワークショップは、知床におけるエコツーリズムの事業実施機関である知床エコツーリズム推進協議会との共同開催を検討する。

ワークショップへの参加は、本検討会議の構成メンバーから募るほか、本ワークショップの趣旨に賛同する知床における観光事業者等からの参加を募る。

基本構造

1 . 定義（前述）

エコツーリズム戦略とは、知床型エコツーリズム推進のため、世界遺産地域を管理し、享受し、活用する様々な立場の者にとって共通の将来目標と、それに至るための方法を定めたもの。

2 . 3 つの基本（評価軸）

世界自然遺産地域に相応しいエコツーリズムの要素として外すことのできない評価軸

- ・遺産地域の自然価値の保護
- ・観光客に対する自然に基づく良質な体験の提供
- ・地域経済の発展

この 3 つを満たすものが、世界自然遺産におけるエコツーリズムであり、これを考慮し、それぞれに配慮しなければならないことを基本とする。

3 . 目標

目指す将来像は 10 年程度を想定
(既存計画の見直しも視野に入れ、知床の目標を作り上げるイメージ)

4 . 課題と解決の方法等

戦略本体の部分であり、書き入れる必要事項についてはワークショップでのアイデアを基に構成させる。

今後の作業内容

年次	検討内容	会合	作業内容
1年目	戦略の骨子の策定	第2回検討会	戦略の意義の確認・ワークショップ(WS)での検討の方向性
		第1回WS	WSとは: 骨子策定に向け、柔軟で自由な意見・アイデアを出しあう場。 第1回WSテーマ「課題への対処法」 「知床型エコツーリズムの課題」に対する課題抽出を行う。 課題に対する各々の視点 に配慮した対策案を検討する。
		第2回WS	第1回目WSのつづき 第1回WSで出された対策案の整理 (課題、対策、配慮事項、実施者...)
		第3回検討会	WSでの整理から課題解決に必要な骨子を定める。
		以降WS / 検討会	第3回以降WSテーマ「目標となる将来像」 「知床の自然を利用すること」に対する各々の視点 からのアイデア出しを行う。 相互の視点を尊重し、将来イメージ化する。 第4回検討会にて骨子の事項をふやす。
2年目	戦略の策定	検討会(・WS)	骨子の具体的内容を検討し戦略を策定する
3年目	戦略の個別課題への反映	検討会(・WS)	戦略の内容を個別の課題へフィードバックさせ、戦略との連携を図る 実施に向けての体制の整理

「各々の視点」

- ・遺産地域の自然価値の保護の視点
- ・自然に基づく良質な体験の提供の視点
- ・地域経済の発展の視点